

はばただけ！
JTサンダーズ広島

竹田 英司

大分三好との練習試合で大分市へ遠征した。例年なら列車移動だが、コロナ禍の今年はバス移動となった。さらに密を避けるため選手用とスタッフ用の2台に分乗し、片道5時間の行程がどの程度選手の負担になるか、良い予行ができた。

ホテルでの食事も様変わりした。いつもならビュッフェ形式だが、今回はあらかじめ盛り



練習試合で先発メンバーに抜てきされた西選手

西選手 練習試合で躍動

付けられた皿を各自で取る方式。食事会場でも密を避けて2班に分けたため、後半グループの選手には温かいスープを提供できず、申し訳なかった。食事そのものはとてもおいしかったので、感染リスクを最小にしつつ温かい料理を提供できなかった。知恵を絞っているところだ。

練習試合は10月のVリーグ開幕戦と同じ会場。昨春完成したばかりの建物は杉の無垢材がふんだんに使用され、木の香りがする、すてきな体育館だった。

大分市出身の西知恕選手が練習試合の先発メンバーに選ばれ、地元で堂々と躍動した。「今まで近いから親御さんにも会いたいだろう」と私が言うのと、「親には会いません。まだこのチームで何も成し遂げていないですから」と答えた若武者。故郷での開幕戦先発を勝ち取る意気込みで、若武者らしく失敗を恐れず精進してほしい。それがチーム全体の強化につながるはずだ。

(JT広島マネジャー)